

平成25年第2回定例会一般質問通告書

通告1番 山内孝樹 議員
質問方式 一問一答方式
質問事項 新たな林業の活性化、再生について
質問相手 町長
質問の要旨 南三陸町の森林面積は町の約8割を占めているが、木価低迷が長期に続き厳しい状況に置かれていることは言うまでもない。災害公営住宅には地元材の利用と取り組みを進めているが、町の復興と合わせ、更なる効率的な流通を計り、需要への波及効果が期待できる振興策としての考えを伺う。

通告2番 星喜美男 議員
質問方式 一問一答方式
1件目
質問事項 公立病院経営について
質問相手 町長
質問の要旨 南三陸町病院建設基本計画の素案が示され、27年4月の開院に向けた動きが具体化してきた。しかし、全国的に地方自治体病院の経営環境は非常に厳しく、本町の場合も例外ではなく、概算収支シミュレーションでも当初から厳しい経営が見込まれている。こうした自治体病院の現状をしっかりと住民に理解を求め、自治体病院としての医療供給の在り方、採算性の優先度などを行政と住民が共通認識に立って、適正かつ効率的な病院経営を図られることが望ましいと思う。町長の考えを伺う。

2件目
質問事項 震災緊急雇用対応事業について
質問相手 町長
質問の要旨 24年度は、各種雇用創出基金事業などの35事業で、706人の雇用が確保され、25年度も継続して事業が行われるとのことで、震災で職を失った人たちも、町を離れることなく職に就くことができ、生活再建への一つの足掛かりになっているものと思う。しかし、震災から2年が経ち、町内の事業所もだいぶ事業を再開してきており、労働力を必要として応募をしても人が集まらず、労働力の確保が困難な状況にある。いずれ、緊急雇用対応事業はなくなるもので、民間への労働力の移行をどう進めていくの

か難しい判断を迫られる時がくると思う。その対応策を伺う。

通告3番 千葉伸孝議員

質問方式 一問一答方式

1件目

質問事項 町民のための生活環境整備を早急に

質問相手 町長

質問の要旨 ① 志津川・歌津仮設商店街は、中小基盤機構による5年間の事業によるもので、終了と共に解体される。それ以後は被災者がまた「買い物弱者」となる。この救済策と商店整備は。
② 志津川地区まちづくり協議会「商業再生部会」では、志津川地区での商店の在り方、希望が議論されている。町内全域の高台移転場所の生活用品・食料品の商店確保として、高台形成をどのように考えているのか。
③ 現在、志津川地区は旭ヶ丘団地下から小森地区まで、ガソリンスタンド・量販店の建設そして出店計画があり、歌津地区においても管の浜から柘沢の国道45号沿いに商店の出店がある。この2地区における商店街の形成をどのように図っていくのか。

2件目

質問事項 学校の「防災教育」による津波対策は万全か

質問相手 教育長

質問の要旨 ① 町内の小中学校での「命を守る」防災意識の向上を図るための教育委員会の、学校防災の取り組みと対策は。
② 25年度2学期から名足小学校は、津波浸水の被災した校舎で授業が始まる。学校の環境整備と津波対策は。
③ 教職員の防災教育への取組と、被災地での教職員の精神面と教育環境は厳しい。その対策は。

通告4番 高橋兼次議員

質問方式 一問一答方式

質問事項 産業振興について

質問相手 町長

質問の要旨 ① 漁業生産の基盤とも言われる水産施設整備への支援策は。
② 歌津地区の中心部である伊里前市街地の利用計画は。
③ 早期復旧が強く求められている我が町の造船業への対策を伺う。

通告5番 山内昇一議員
質問方式 一問一答方式
質問事項 慈恵園の再建に行政の指導と助成支援で早期実現は
質問相手 町長
質問の要旨 東日本大震災で特別養護老人ホームが被災し、町民より望まれている再建が大きな課題である。やむなく被災地から離れ、やっと入谷地区に候補地の協力が得られ、今後、用地設備・設計段階に進むようである。本町の復興事業と合せ早期再建に行政の指導、各支援策は重要と思うが伺う。

通告6番 大瀧りう子議員
質問方式 一問一答方式
1件目
質問事項 灯油購入に助成を
質問相手 町長
質問の要旨 今年は例年になく寒さが厳しく、家庭の灯油需要が大幅に伸びており、家計に深刻な影響を与えている。低所得者への町の助成が必要と考えるが伺う。

2件目
質問事項 ゴミの資源化への取り組みを
質問相手 町長
質問の要旨 地球温暖化の原因と思われるCO₂の発生を抑制するため、また、町の経済にも大きく貢献できるゴミのリサイクル化を進めるべきと考えるが。

3件目
質問事項 男女共同参画事業の取り組みを
質問相手 町長
質問の要旨 平成23年の震災前に男女共同参画推進計画が提示されたが、その後、震災により中断されている。今後、積極的な取り組みが必要と考えるが伺う。

通告7番 菅原辰雄議員
質問方式 一問一答方式
1件目
質問事項 町づくりについて

質問相手 町長
質問の要旨 東日本大震災大津波発災から丸2年になる。安心安全な町づくりとして、職住分離、住いは安全な高台へと20地区28団地の場所も決定した。いよいよ新しい町づくりがスタートする。これまでも地元産木材使用、再生可能エネルギー、環境、景観などに配慮等の提言、提案があったが新しい町づくりの具体的な考えを伺う。

2件目

質問事項 教育環境について
質問相手 町長・教育長
質問の要旨 東日本大震災から間もなく丸2年を迎えるが、大きく変化した教育環境の現状と課題をどう捉え、どのような対応をしていくのか。

通告8番 鈴木春光議員

質問方式 一問一答方式

1件目

質問事項 東日本大震災後の検証と復興再生ビジョンは
質問相手 町長・教育長
質問の要旨 2011年3月11日発生した東日本大震災の検証はどうあったのか、事業実施に向けた課題を伺う。
①ライフライン、教育、医療などについて
更には復興再生ビジョンに向けての取組について
①新年度事業の優先順位は
②行政機能の今後のあり方

2件目

質問事項 町税の減税策について
質問相手 町長
質問の要旨 東日本大震災後、納税義務者である農家農民ならず漁業者、林業家の現状を見ると生活困窮から納税が至難である。軽減策の考えは。

通告9番 三浦清人議員

質問方式 一問一答方式

1件目

質問事項 新病院運営について

質問相手 町長

質問の要旨 透析医師の招聘についての考えは。

2件目

質問事項 復興支援策について

質問相手 町長

質問の要旨 水道設備補助制度の見直しの考えは。